

キャラクター名 ???? プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス ノイマン		ワークス	その他C	カバー	FHレネビ
	オプショナル		年齢	?(見た目は8歳ほど)	性別	男の子
覚醒	生誕	衝動	妄想	初期侵食率	120	%
出自	転生体	経験	絶望	邂逅	欲望	居場所

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	118
肉体	1	0	0			1	行動値	8
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	8
精神	5	1	0			6	戦闘移動	13
社会	1	0	0			1	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉	1	
回避			知覚	1		意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	FH	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ヴィブロウィップ	白兵	1r-2		10		コンボにオト装備可。リキッドブレイド(中)間攻撃力+5。ハードワイヤードアイテム3つ分
リキッドブレード	白兵	1r-2	1	11		攻撃力が「ド」値に合計12点割り振る(最低値1)。Xジャ-で使用で数値変更
	白兵	9r-3	1	21		原初の紫・復讐の刃、マルチウェポン、コントロールソート、コンパットシステム

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
ウェポンケース					
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス	消費	
Dロイス 装着者-アイルム-サー	P	N			
ジ	P	N			
ヤ	P	N			
丨	P	N			
ム	P	N			
だ	P	N			
よ	P	N			
最大財産P:	2	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
ヒューマンズネイバー	1		常備	至近	自身	自動	RB	
効果:	衝動判定ダイス+Lv個							
オリジン:ヒューマン	1	2	マイナ-	至近	自身	自動	RB	
効果:	エフェクト判定値+Lv							
コンセントレイト:ノイマン	2	2	Xジャ-					
効果:	C値-Lv							
原初の黒:ハードワイヤード	3	2	常時	至近	自身	自動	80	
効果:	《ヴィブロウィップ》常備化							
マルチウェポン	1	3	Xジャ-	武器		対決		
効果:	同技能武器攻撃力ふたつ合計 達成値5-Lv							
生命増強	3		常時	至近	自身			
効果:	最大HP+Lv×30							
コントロールソート	1	2	Xジャ-	武器		対決		
効果:	<白兵>【精神】判定							
アスクレピオスの杖	2	2	Xジャ-	至近	単体	自動	100	
効果:	対象HP LvD+対象の侵食率÷10点回復							
傍らの影法師	1							
効果:	「ふふ、これ何だと思う…?」							
完全演技	1							
効果:	「これが僕の素顔だよ?」							
シャドウダイバー	1							
効果:	「へえ、君は…そう感じていたんだね」							
イージーフェイカー:見放されし地	1							
効果:	「君と二人きりで話しかかったんだ」							
効果:								

本名年齢不明。CNIは「カトル」。FH所属のレネゲイドピーニング。侵食率120%越のジャ-ム。シンドロームはウロボロス/ノイマン

昔は根暗で孤独な少年だったが蓮華(当時7歳)と出会ってから少しずつ心を開いていった。出会ってから1年ほどは二人でよく公園で遊んでいたがある日突然カトルは蓮華の前から姿を消した。何も告げられず名前も知らなかった蓮華は探すこともできなかった。(※)

それからおよそ10年後、FHで再会したとき彼は昔出会った時から変わらず幼いまの姿をしていた。(※) 彼の名前をずっと知らなかったレンは聞いてみたがそれには答えず代わりにCN「カトル」とだけ告げた。(※)

昔は気弱で口数の少ない地味な少年であったが蓮華といるときは笑うことが多かった。友達のいなかった彼は一緒にいてくれた蓮華に感謝しているらしい。今は普通に誰とでも喋れるようになり以前よりも明るくなったように感じる。ただ、常に作ったような笑みを浮かべているところ、その裏に抱えているだろう何か重たい闇の気配を除けば、だが。(※)

「名前? そうだなあ…僕のことは『カトル』って呼んで」「やっぱり蓮華は変わらないね、昔から」

※失踪した原因、彼の体が成長していない理由、名前を言わない事情、抱えてる闇の詳細、これらはあえてPL自身も考えていませんのでシナリオ内で使えそうでしたら設定を勝手に生やしていただいてかまいません。決めたほうが良きげでしたら考えてきます

—以下カトルの出自について—